

令和6年全国家計構造調査 調査項目等の変更（案）について

令和5年3月29日

総務省統計局

調査項目等の検証 概要

- 令和元年調査（以下、「前回調査」）の実施状況を踏まえ、調査事務の減量・効率化や報告者負担軽減の観点から、第20回消費統計研究会において調査項目等の変更案を提示
- 同研究会の議論を踏まえて案を修正の上、民間モニターによって変更の効果を検証し、一定程度の効果が確認された項目等は変更
- 上記に加えて、一部の項目や注記について形式的な変更を予定

【検証の概要】

対象票 : 世帯票、年収・貯蓄等調査票、アンケート票

世帯数 : モニターから選定した2,000世帯を無作為に2分割（2グループ×1,000世帯）

検証方法 : 郵送により、1グループに従来票（令和元年と同じ票）、別の1グループに変更票（令和元年から変更した票）を配布し、両グループにアンケート票を配布することによって誤記入や未記入等の状況を把握

	回答世帯数	勤労者世帯	勤労者以外の世帯	
			無職世帯	その他の世帯
合計	2,000	1,120	880	
二人以上	1,240	680	340	220
単身世帯	760	440	320	

【回収数】 ※ 3票全ての対象票を提出した世帯数（2023年3月1日時点）

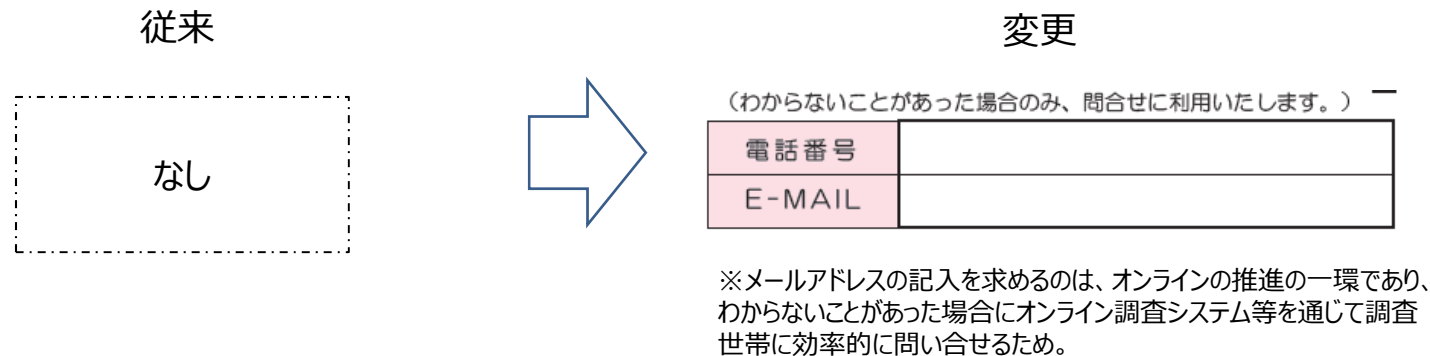
	回答世帯数	勤労者世帯	勤労者以外の世帯	
			無職世帯	その他の世帯
合計	1,421	882	539	
二人以上	840	521	215	104
単身世帯	581	361	220	

1. 世帯票

「連絡先」欄の設定及び検証結果（全調査票共通）

- 前回調査において連絡先欄の削除によって世帯への接触が取りづらくなり、地方事務が増加したことを踏まえて、検証において項目を追加して記入率を把握
- 検証結果によると、（モニターである点を踏まえても）連絡先の記入率は高く、地方事務の軽減に寄与すると期待されることや世帯に接触しにくくなっている昨今の環境も踏まえて全票に追加

【項目内容】



【検証結果】

世帯の連絡先欄の記入割合

	電話番号	メールアドレス
記入率 (%) N=1,422	91.9%	86.3%

※従来票及び変更票の世帯全てに記入を求めている。

「Ⅱ世帯員について」欄の設定及び検証結果

- 世帯員の項目には「3か月以上不在の家族」の記入は不要であるが、誤記入するケースを回避するため、変更票では注記を変更
- 検証結果によると、注記が長文であったこと等によって誤記入は若干悪化しているため、従来通りの注記を採用
- なお、「記入のしかた」において誤記防止の注意喚起を記載する等の対応を予定

【項目内容】

従来票		変更票	
Ⅱ 世帯員について〔一緒に住んでいる世帯員について(1)から(9)〕 (1)男女の別及び世帯主との続き柄 3か月以上不在の家族はⅢへ ・世帯主は、名目上の世帯主ではなく、一緒に住んでいて、かつ「家計上の主たる収入を得ている人」としてください ・「家計上の主たる収入を得ている人」が3か月以上不在の場合は、世帯員の中から代表者を選び、世帯主としてください		Ⅱ 世帯員について〔一緒に住んでいる世帯員について(1)から(9)〕 (1)男女の別及び世帯主との続き柄 3か月以上不在の家族がいる場合はその家族についてⅢ(裏面)に記入 ・世帯主は、名目上の世帯主ではなく、一緒に住んでいて、かつ「家計上の主たる収入を得ている人」としてください ・3か月以上不在の人がいる場合はその人について(1)から(9)欄には記入せず、「Ⅲ 3か月以上不在の家族について」(裏面)に記入してください ・「家計上の主たる収入を得ている人」が3か月以上不在の場合は、世帯員の中から代表者を選び、世帯主としてください	
1人目の世帯員 <input type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女 世帯主の 子の 世帯主の 世帯主 配偶者 子 配偶者 の父母 <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>		1人目の世帯員 <input type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女 世帯主の 子の 世帯主の 世帯主 配偶者 子 配偶者 の父母 <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	
世帯主の 兄弟 他の 配偶者の 姉妹 親族 父 母 孫 祖父母 姉妹 親族 <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>		世帯主の 兄弟 他の 配偶者の 姉妹 親族 父 母 孫 祖父母 姉妹 親族 <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	
住み込み その他 の雇人 <input type="radio"/> <input type="radio"/>		住み込み その他 の雇人 <input type="radio"/> <input type="radio"/>	

【検証結果】

3か月以上不在の家族についての世帯員欄への誤記入割合

	従来票 N=704	変更票 N=717
誤記入 (%) (3か月以上不在の家族も含めて回答)	11.9%	14.4%

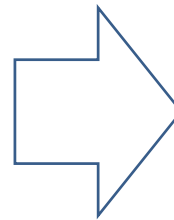
「就学の状況」欄の設定

- 就学中の世帯員のみが対象との勘違いによる未記入を回避するため、変更票では項目名を「就学の状況」から「教育」に変更し検証
- また、注記の「在学中」、「卒業」及び「未就学・その他」の太字フォントに変更

【項目内容】

従来票

(6) 就学の状況	在学中	卒業	未就学・その他	
<ul style="list-style-type: none"> • 学校に在学しているかどうかについて記入したうえで矢印に従って記入してください • 在学中の人はその学校について、卒業の人は最終卒業学校（中途退学した人はその前の卒業学校）について記入してください • 専修学校・各種学校に在学中又は卒業の人は『世帯票の記入のしかた』を参照して記入してください 	○	○	○	
	小学・ 中学 高校・ 旧制中 専門学校 (修業年限)	○	短大・高専・ 旧制高 大学 大学院	○
	1年以上 2年未満	2年以上 4年未満	4年以上	○
	保育園・ 保育所	幼稚園	その他 (乳児など)	○



変更票

(6) 教育	在学中	卒業	未就学・その他	
<ul style="list-style-type: none"> • 学校に在学しているかどうかについて記入したうえで矢印に従って記入してください • 在学中の人はその学校について、卒業の人は最終卒業学校（中途退学した人はその前の卒業学校）について、未就学・その他の人はその入園について記入してください • 専修学校・各種学校に在学中又は卒業の人は『世帯票の記入のしかた』を参照して記入してください 	○	○	○	
	小学・中学 高校・旧制中 専門学校 (修業年限)	○	短大・高専・ 旧制高 大学 大学院	○
	1年以上 2年未満	2年以上 4年未満	4年以上	○
	保育園・ 保育所	幼稚園	認定 こども園 その他 (乳児など)	○

「就学の状況」欄の検証結果

- 項目名称について、検証結果によると、変更票の方が未記入の割合は低く、また項目名称から調査対象に含めるかどうかの世帯も広く認知されていたため、「教育」を採用

【検証結果】

世帯員の「就学の状況」及び「教育」項目の未記入割合

	従来票（就学の状況）		変更票（教育）	
	在学中の人N=196	卒業N=1,228	在学中の人N=161	卒業N=1,220
未記入（%）	0%	13.5%	0%（注）	7.9%

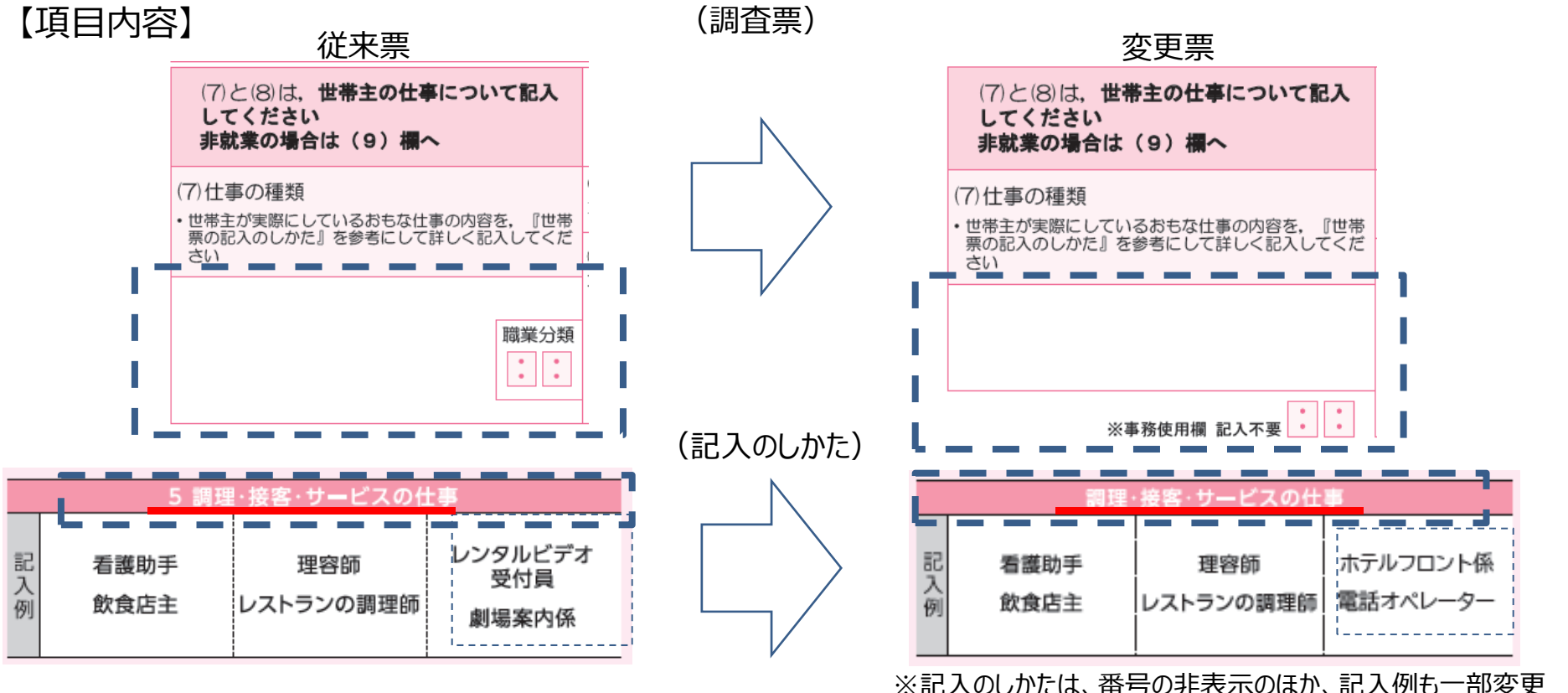
（注） 1世帯員について、専門学校の種類別の記入はあり、就学の状況欄の記入漏れと判断し、未記入に計上していない。

参考 項目名称別 調査対象に含めるかどうかの世帯の認知

	従来票（就学の状況） N=704			変更票（教育） N=717		
	在学中の人	卒業	未就学・その他	在学中の人	卒業	未就学・その他
範囲（%）	62.6%	84.1%	49.6%	64.9%	90.0%	54.0%

「仕事の種類」欄の設定及び検証結果

- 変更票では、記入のしかたにある例示番号の誤記入を回避するため番号を消去し、また調査票の事務用使用欄の位置を欄外に移動（前回調査では使用欄に誤記入する例あり）
- 検証結果によると、従来票であっても誤記入割合は低いものの、その割合をより低くするため、変更票及び変更した記入のしかたを採用



【検証結果】

「記入のしかた」の番号の世帯の誤記入割合

	従来票 N=521	変更票 N=515
誤記入 (%)	0.2%	0%

「3か月以上不在の家族について」欄の設定及び検証結果

- 変更票では、「(10) 家計を主に支える人」の人数が設問(11)に重複計上されることを回避するため、(11)の名称を「その他の人」から「家計を主に支える人以外の人」に変更
- 検証結果によると、誤記入の割合は同程度であったことから、従来票を採用

【項目内容】

従来票

Ⅲ 3か月以上不在の家族について	
(10)家計を主に支える人 ・家計上の主たる収入を得ている人で、かつ3か月以上不在の人がいる場合に記入してください	(不在理由) <input type="radio"/> 単身赴任 <input type="radio"/> 出稼ぎ <input type="radio"/> 入院 <input type="radio"/> その他
	(世帯主との続柄) 世帯主の配偶者 子 子の配偶者 世帯主の父母 世帯主の配偶者の父 母 <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
	孫 祖父母 兄弟姉妹 他の親族 <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
(11)その他の人 ・(10)以外の人で、家計の一部又は全部をこの世帯の収入に頼っている人のうち、3か月以上不在の家族がいる場合に記入してください	<input type="radio"/> 入院 → <input style="width: 20px;" type="text"/> 人 <input type="radio"/> 介護保険施設入所 → <input style="width: 20px;" type="text"/> 人 <input type="radio"/> 他の介護施設入所 → <input style="width: 20px;" type="text"/> 人 <input type="radio"/> 学業 → <input style="width: 20px;" type="text"/> 人 <input type="radio"/> その他 → <input style="width: 20px;" type="text"/> 人

➔

変更票

Ⅲ 3か月以上不在の家族について	
(10)家計を主に支える人 ・家計上の主たる収入を得ている人で、かつ3か月以上不在の人がいる場合に記入してください	(不在理由) <input type="radio"/> 単身赴任 <input type="radio"/> 出稼ぎ <input type="radio"/> 入院 <input type="radio"/> その他
	(世帯主との続柄) 世帯主の配偶者 子 子の配偶者 世帯主の父母 世帯主の配偶者の父 母 <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
	孫 祖父母 兄弟姉妹 他の親族 <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
(11)家計を主に支える人以外の人 ・(10)以外の人で、家計の一部又は全部をこの世帯の収入に頼っている人のうち、3か月以上不在の家族がいる場合に記入してください	<input type="radio"/> 入院 → <input style="width: 20px;" type="text"/> 人 <input type="radio"/> 介護保険施設入所 → <input style="width: 20px;" type="text"/> 人 <input type="radio"/> 他の介護施設入所 → <input style="width: 20px;" type="text"/> 人 <input type="radio"/> 学業 → <input style="width: 20px;" type="text"/> 人 <input type="radio"/> その他 → <input style="width: 20px;" type="text"/> 人

【検証結果】

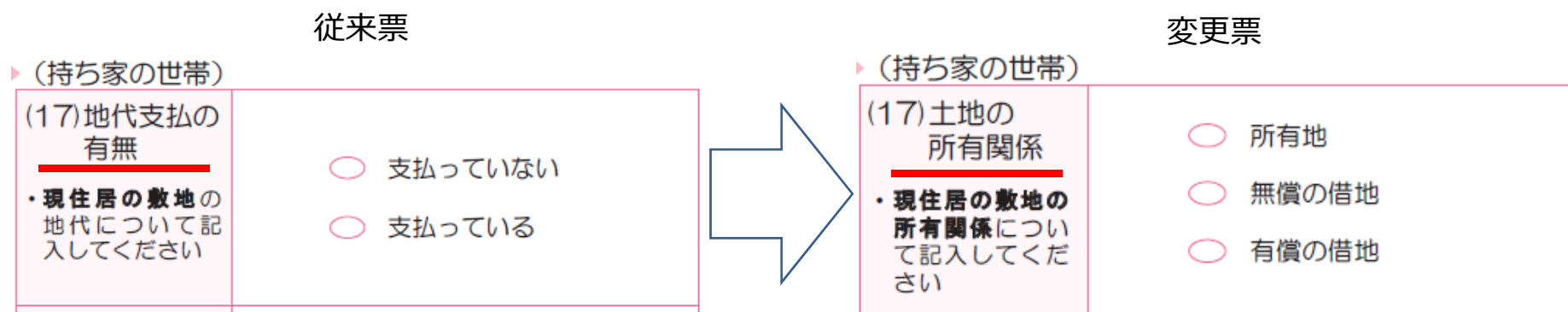
(11)に「家計を主に支える人」を含めた世帯の誤記入の割合

	その他の人 N=704	家計を主に支える人以外の人 N=714
誤記入 (%)	16.6%	16.9%

「地代支払の有無」欄の設定及び検証結果

- 変更票では、名称から調査内容が伝わりにくいとの地方意見を踏まえて、地代支払から土地の所有関係の設問に変更
- 検証結果によると、土地の所有関係の方が誤記入率が若干低下したため、変更票を採用

【項目内容】



【検証結果】

「地代支払の有無」又は「土地の所有関係」の持家世帯の誤記入割合

	従来票（地代支払の有無） N=440	変更票（土地の所有関係） N=449
誤記入（%）	21.3%	16.7%

「住居の建築時期」欄の設定及び検証結果

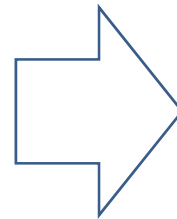
- 変更票では、現住居以外の住宅及び土地について、現住居の記入を避けるため、「以外」の部分のフォントを太字で強調
- 検証結果によると、変更票の方が誤記入割合が若干低下したため、フォント強調を採用

【項目内容】

従来票

(20) 現住居以外の住宅をあなた又はあなたの家族名義で所有していますか (法人名義は除きます)

(21) 現住居地以外の土地 (住宅用) をあなた又はあなたの家族名義で所有していますか (法人名義は除きます)



変更票

(20) 現住居**以外**の住宅をあなた又はあなたの家族名義で所有していますか (法人名義は除きます)

(21) 現住居地**以外**の土地 (住宅用) をあなた又はあなたの家族名義で所有していますか (法人名義は除きます)

【検証結果】

現住居以外の住宅及び土地の世帯の誤記入割合

	従来票 N=97	変更票 N=91
誤記入 (%)	9.3%	4.2%

※現住居以外の住宅の延べ床面積、建築時期が現住居と完全一致した場合に誤記入と判断

その他形式的な変更

- 現行制度を踏まえて、就学の状況に認定こども園の選択肢を追加（参考1）
- 調査実施年の変更に伴い、建築時期欄について和暦の令和の追加、西暦年の変更

【項目内容】

従来票

保育園・保育所	幼稚園	その他 (乳児など)
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

変更票

保育園・保育所	幼稚園	認定こども園	その他 (乳児など)
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

(19)住居の建築時期

・西暦は、4桁で記入してください

<input type="radio"/>	昭和45年以前（1970年以前）
<input type="radio"/>	昭和
<input type="radio"/>	平成
<input type="radio"/>	西暦
<input checked="" type="radio"/>	2019年

(19)住居の建築時期

・西暦は、4桁で記入してください

<input type="radio"/>	昭和45年以前（1970年以前）
<input type="radio"/>	昭和
<input type="radio"/>	平成
<input checked="" type="radio"/>	令和
<input type="radio"/>	西暦
<input checked="" type="radio"/>	2024年

(20) 現住居以外の住宅をあなた又はあなたの家族名義で所有していますか
(法人名義は除きます)

所有している 所有していない

建築時期	住宅の延べ床面積	住宅の構造
<input type="radio"/>		木造
<input type="radio"/>		防火木造
<input type="radio"/>		鉄骨・鉄筋
<input type="radio"/>		コンクリート造
<input type="radio"/>		その他
<input checked="" type="radio"/>	千 百 + - : : : : m ²	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
昭和45年以前（1970年以前）		
昭和		
平成		
西暦		
2019年		

(20) 現住居以外の住宅をあなた又はあなたの家族名義で所有していますか
(法人名義は除きます)

所有している 所有していない

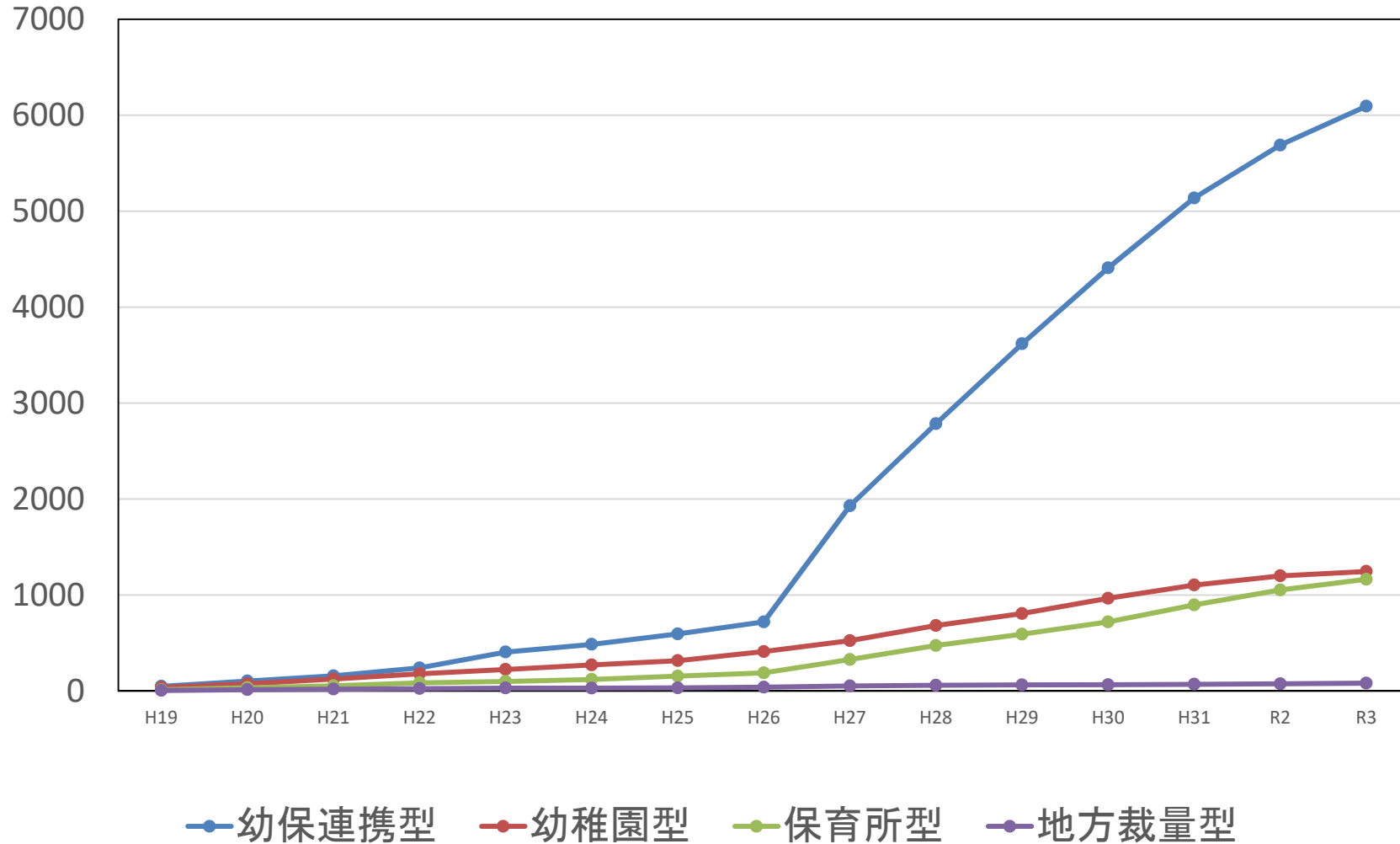
建築時期	住宅の延べ床面積	住宅の構造
<input type="radio"/>		木造
<input type="radio"/>		防火木造
<input type="radio"/>		鉄骨・鉄筋
<input type="radio"/>		コンクリート造
<input type="radio"/>		その他
<input checked="" type="radio"/>	千 百 + - : : : : m ²	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
昭和45年以前（1970年以前）		
昭和		
平成		
令和		
西暦		
2024年		

(参考1) 認定こども園認定数

「認定こども園に関する状況について（令和3年4月1日現在）」

（出典：令和3年10月11日内閣府子ども・子育て本部）

認定こども園の認定件数



2. 年収・貯蓄等調査票

「年間収入について」欄の設定及び検証結果

- 世帯主及びその配偶者の収入を他の世帯員に重複計上することを回避するため、世帯にレイアウト2案を提示し、正確に回答しやすいレイアウトに関して質問
- 検証結果によると、「レイアウト1の方が回答しやすい」とする割合が高いため、レイアウト1を採用

【項目内容】

設問) 年収・貯蓄等調査票の「I 年間収入について」の「他の世帯員」欄について、世帯主又は世帯主の配偶者の年間収入を「他の世帯員欄」に含めないで回答しなければならない場合、次のどちらの調査票の方が正確に回答しやすいと思いますか。

レイアウト1

①世帯主	②世帯主の配偶者	他の世帯員 (①世帯主及び②世帯主の配偶者以外)	
		③65歳未満	④65歳以上

レイアウト2

①世帯主	②世帯主の配偶者	他の世帯員	
<u>全年齢</u>	<u>全年齢</u>	③65歳未満	④65歳以上

※レイアウト1及び2について、下線部分が従来票からの変更点

【検証結果】

正確な回答しやすさに関する世帯の回答結果

	レイアウト1の方が回答しやすい	レイアウト2の方が回答しやすい
回答 (%) N = 1422	76.4%	23.6%

その他形式的な変更①

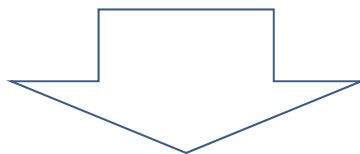
- 借入金残高について、法人事業のための分を含めた誤回答を避けるため、調査票及び記入のしかたにおいて注記を追加

【項目内容】

(従来票)

<p>V 借入金残高について</p> <p>あなたの世帯では、2022年10月末日現在で借入金あるいは月賦・年賦の未払残高がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none">● 借入金の種類ごとに残高を記入してください。● ここでいう借入金には、家計用だけでなく個人営業のための分も含めてください。	(億) 千 百 十 一 □ □ □ □ □ □ □ □
--	--------------------------------

(記入のしかた)
記載なし



(変更票)

<p>V 借入金残高について</p> <p>あなたの世帯では、2022年10月末日現在で借入金あるいは月賦・年賦の未払残高がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none">● 借入金の種類ごとに残高を記入してください。● ここでいう借入金には、家計用だけでなく個人営業のための分も含めてください。 <u>ただし、法人事業のための分は含めないでください。</u>	(億) 千 百 十 一 □ □ □ □ □ □ □ □
--	--------------------------------

※下線部分が変更点

(記入のしかた)

<p>V 借入金残高について</p> <ul style="list-style-type: none">● ここでいう借入金には、家計用だけでなく個人営業のための分も含めてください。 <u>ただし、法人事業のための分は含めないでください。</u>
--

その他形式的な変更②

● 調査実施年の変更に伴い、記入対象の期間を変更

【項目内容】

従来票

変更票

I 年間収入について

あなたの世帯の過去1年間（**2018年11月から2019年10月まで**）の収入（税込み）はだいたいどれくらいになりますか。

I 年間収入について

あなたの世帯の過去1年間（**2023年11月から2024年10月まで**）の収入（税込み）はだいたいどれくらいになりますか。

II 仕送り金について

あなたの世帯が過去1年間（**2019年11月から2022年10月まで**）に親族などから仕送りしてもらった額、親族などに仕送りした額はだいたいどれくらいになりますか。
※単身赴任の家族などから仕送りしてもらった額も(1)に記入してください。

(1)親族などから仕送りしてもらった額

千 百 十 一
 万円

(2)親族などに仕送りした額

千 百 十 一
 万円

II 仕送り金について

あなたの世帯が過去1年間（**2023年11月から2024年10月まで**）に親族などから仕送りしてもらった額、親族などに仕送りした額はだいたいどれくらいになりますか。
※単身赴任の家族などから仕送りしてもらった額も(1)に記入してください。

(1)親族などから仕送りしてもらった額

千 百 十 一
 万円

(2)親族などに仕送りした額

千 百 十 一
 万円

III 企業年金掛金・固定資産税などについて

あなたの世帯が過去1年間（**2019年11月から2022年10月まで**）に支払った年金掛金や税金のうち、以下の合計額はどれくらいになりますか。

III 企業年金掛金・固定資産税などについて

あなたの世帯が過去1年間（**2023年11月から2024年10月まで**）に支払った年金掛金や税金のうち、以下の合計額はどれくらいになりますか。

IV 貯蓄現在高について

あなたの世帯では、**2019年10月末日現在**で貯蓄がいくらありますか。

IV 貯蓄現在高について

あなたの世帯では、**2024年10月末日現在**で貯蓄がいくらありますか。

V 借入金残高について

あなたの世帯では、**2019年10月末日現在**で借入金あるは月賦・年賦の未払残高がありますか。

V 借入金残高について

あなたの世帯では、**2024年10月末日現在**で借入金あるは月賦・年賦の未払残高がありますか。

(参考2) 世帯票及び年収・貯蓄等調査票の記入負担感

- アンケート票において、回答が最も困難とした項目は、貯蓄現在高、住居の延べ面積、年間収入、住居の敷地面積の順に高く、これらの4つの項目で全体の54.9%を占める。
- 困難とした理由は、貯蓄・収入の内訳が細かく調べるのが大変、間取りは答えられるが面積は調べないと不明など、忌避感というよりは記入時の負担に関する意見が多数

	世帯票							
	(1)男女の別及び世帯主との続き柄	(2)満年齢	(3)配偶者の有無	(4)就業・非就業の別	(5)ふだんの1週間の就業時間	(6)就学の状況	(7)仕事の種類	(8)勤め先の企業区分及び規模
従来票 N=705	1.7%	0.1%	1.0%	0.6%	2.7%	2.0%	8.5%	5.5%
改善票 N=717	1.3%	0.7%	0.1%	1.0%	4.9%	2.1%	6.0%	2.6%
計 N=1,422	1.5%	0.4%	0.6%	0.8%	3.8%	2.0%	7.2%	4.1%
	(9)要介護・要支援認定の状況	(10)家計を主に支える人	(11)その他の人	(12)単身世帯の形態	(13)住居の構造	(14)住居の延べ床面積	(15)住居の建て方	
従来票 N=705	0.1%	1.4%	0.4%	1.8%	2.0%	15.5%	1.4%	
改善票 N=717	0.6%	0.6%	1.5%	2.5%	2.6%	19.4%	1.3%	
計 N=1,422	0.4%	1.0%	1.0%	2.2%	2.3%	17.4%	1.3%	
	(16)住居の所有関係	(17)地代支払の有無	(18)住居の敷地面積	(19)住居の建築時期	(20)現住居以外の住宅の所有	(21)現居住地以外の土地の所有	(22)月々支払っている家賃及び住宅ローン	
従来票 N=705	0.3%	1.7%	10.8%	2.4%	0.7%	1.0%	0.0%	
改善票 N=717	0.4%	1.8%	8.9%	1.3%	0.3%	0.7%	0.4%	
計 N=1,422	0.4%	1.8%	9.8%	1.8%	0.5%	0.8%	0.2%	

	年収・貯蓄等調査票				
	23:(Ⅰ)年間収入について	24:(Ⅱ)仕送り金について	25:(Ⅲ)企業年金掛金・固定資産税などについて	26:(Ⅳ)貯蓄現在高について	27:(Ⅴ)借入金残高について
従来票 N=705	9.2%	1.3%	8.1%	17.5%	2.1%
改善票 N=717	10.9%	1.3%	6.4%	17.7%	2.8%
計 N=1,422	10.1%	1.3%	7.2%	17.6%	2.5%

3. 家計簿

形式的な変更

- 家計簿について、毎日の現金支出の合計額の記入を求めているが、現金以外の金額も合計されることを回避するため、『現金支出の合計B』を『支払い方法「①現金」の合計』に名称変更及びそれらの配色を変更（より目立つように「電子マネー」の配置等も変更）

【項目内容】

従来票

品名	支払い方法									金額及び用途 自分の店の商品は販売額を記入します (円)	自家用以外 (贈答・来客用、仕送りなど)
	① 現金	② フレッシュ・掛買い・月賦	③ プリペイド(前払い)	④ ポストペイ(後払い)	⑤ ポイント	⑥ 商品券	⑦ デビットカード	⑧ 口座振替等	⑨ 自分の店の商品		
26	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
27	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
28	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
29	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
30	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
31	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
32	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
33	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
34	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
35	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
現金支出の合計 B											円

変更票

支払い方法は、該当する番号を○で囲んでください。

品名	支払い方法									金額及び用途 自分の店の商品は販売額を記入します (円)	自家用以外 (贈答・来客用、仕送りなど)
	① 現金	② フレッシュ・掛買い・月賦	③ 電子マネー プリペイド(前払い)	④ ポストペイ(後払い)	⑤ ポイント	⑥ 商品券	⑦ デビットカード	⑧ 口座振替等	⑨ 自分の店の商品		
26	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
27	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
28	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
29	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
30	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
31	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
32	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
33	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
34	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
35	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
支払い方法「①現金」の合計 B											円

令和6年調査項目等の変更案（まとめ）

- 令和6年調査は、令和元年の調査票様式を基本としつつ、今回の検証結果によって一定程度の効果が得られた項目等について変更
- 上記に加えて、各票の形式的な点や記入のしかたも変更予定

【調査項目等の主な変更点】

世帯票	年収貯蓄等調査票	家計簿
<ul style="list-style-type: none"> ・「連絡先」欄の追加 ・「就学の状況」→「教育」欄に名称変更及び注記のフォント変更 ・「未就学・その他」の選択肢を「保育園・保育所、幼稚園、その他（乳児など）」→「保育園・保育所、幼稚園、認定こども園、その他（乳児など）」に変更 ・事務用使用欄「職業分類」の配置変更 ・「地代支払の有無」から「土地の所有関係」に名称及び選択肢の変更 ・現住居以外の住宅及び土地のフォントの変更（「以外」を強調） ・調査実施年の変更に伴う年号及び元号の変更 	<ul style="list-style-type: none"> ・「連絡先」欄の追加 ・年間収入欄のうち「他の世帯員」欄の下の位置に「（①世帯主及び②世帯主の配偶者以外）」の追加 ・調査実施年の変更に伴う年号及び元号の変更 	<ul style="list-style-type: none"> ・「連絡先」欄の追加 ・『現金支出の合計』→『支払い方法「①現金」の合計』に名称変更及び『①現金』及び『支払い方法「①現金」の合計』の配色変更 ・「電子マネー」の表示配置の変更

※家計調査世帯特別調査票、個人収支簿及び全国単身世帯収支実態調査（一般統計調査）についても同様に対応